

# 平成29年度事業報告書

公益財団法人宮崎県産業振興機構

# 1 公益財団法人宮崎県産業振興機構の概要

## (1) 目的

県内中小企業における、経営基盤強化、経営の革新、技術の高度化及び新事業の創出並びに関係組織・機関との連携の推進等に資する事業を行うことにより、本県産業の振興を図るとともに、活力ある地域社会の形成に寄与することを目的とする。

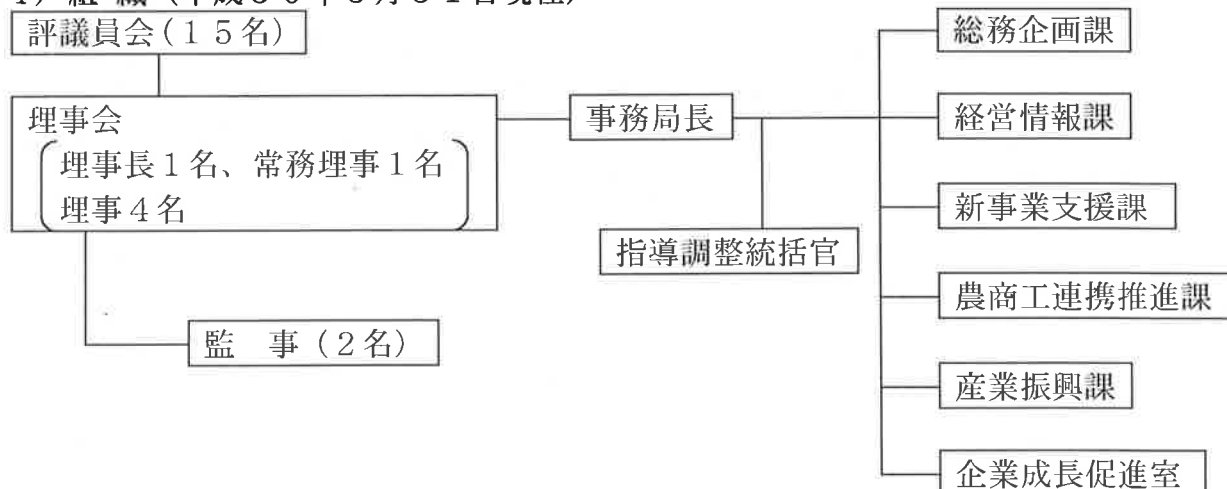
## (2) 事業

- ①経営課題等に対する相談、助言に関する事業
- ②新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業
- ③経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業
- ④産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業
- ⑤産業振興に資する人材の育成に関する事業
- ⑥産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

## (3) 沿革

平12. 4	財団法人 宮崎県産業支援財団設立 (4月1日) (財) 宮崎県産業技術情報センター(昭54. 9 設立)と (財) 宮崎県中小企業振興公社(昭43. 5 設立)を統合
25. 4	公益財団法人に移行、名称を公益財団法人宮崎県産業振興機構に変更

## (4) 組織 (平成30年3月31日現在)



## (5) 所在地

- ① 宮崎市佐土原町東上那珂16500番地2  
(宮崎テクノリサーチパーク 宮崎県工業技術センター内)。
- ② なお、当機構が運営する「みやざきフードビジネス相談ステーション」は宮崎グリーンスフィア壱番館 (KITEN) 3階に、また企業成長促進室の職員が事務局員を務める「宮崎県企業成長促進プラットフォーム事務局」は同2階に設置。

## 2 評議員会・理事会の開催状況

### (1) 評議員会の開催状況

#### 第1回評議員会

日時：平成29年6月29日

場所：宮崎観光ホテル 東館2階「紅」

議事：(1)平成28年度事業報告について  
(2)平成28年度収支決算について  
(3)評議員の選任について  
(4)役員の選任について  
(5)会計監査人の不再任について

#### 第2回評議員会

日時：平成30年3月28日

場所：宮崎観光ホテル 西館8階「ブリリアント」

議事：(1)平成29年度事業計画及び収支予算の変更について  
(2)平成30年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて  
(3)定款の変更について  
(4)役員の選任について

### (2) 理事会の開催状況

#### 第1回理事会

日時：平成29年4月1日 書面審議

議事：(1)代表理事及び業務執行理事の選定について  
(2)諸規程の改正について

#### 第2回理事会

日時：平成29年6月13日

場所：KITEN 8階コンベンションホール小会議室

議事：(1)平成28年度事業報告について  
(2)平成28年度収支決算について  
(3)平成29年度第1回評議員会の開催について

#### 第3回理事会

日時：平成29年6月29日 書面審議

議事：(1)代表理事及び業務執行理事の選定について

#### 第4回理事会

日時：平成29年10月24日

場所：KITEN 8階コンベンションホール小会議室

議事：(1)平成29年度上半期における事業の進捗状況等について  
(2)平成29年度事業計画及び収支予算の変更の専決について

第5回理事会

日時：平成30年3月9日

場所：KITEN8階コンベンションホール小会議室

- 議事：(1)平成29年度下半期における業務執行状況等について  
(2)平成29年度事業計画及び収支予算の変更の専決について  
(3)平成30年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて  
(4)平成29年度第2回評議員会の開催について



### 3 平成29年度事業の概況

#### 平成29年度事業実施の要旨及び方針

平成29年度の日本経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、景気は緩やかな回復基調が続いている。本県の経済状況についても、個人消費が底堅く推移し、企業の景況感良好な状態を維持するなど、景気は緩やかに持ち直しの動きが続いている。また、人手不足感は強まっている。

このような中、当機構は、中期運営計画（平成27年度～平成30年度）において、中長期的な視点で重点的に取り組む支援内容や時勢に対応した事業戦略の方向性の明確化を図り、役職員が一丸となって、現場に深く根ざす企業のパートナーの実現を目指している。

また、県・国・各商工団体等の幅広いネットワークをもとに蓄積された支援ノウハウ、専門的な人材を活かし、スピーディーかつ戦略的な事業運営を意識しながら実施した。

開設から4年目を迎えた「よろず支援拠点」では、多様化する相談内容や定期的な出張相談会に対応するため、税理士、貿易コンサルタントの2名を加え総勢15名のコーディネーターを配置するとともに、宮崎県信用金庫協会、MUKASA-HUB及び宮崎県信用保証協会とそれぞれ包括連携協定を締結し、中小企業や小規模事業者の様々な経営課題に対して、より実効性のある支援体制の強化を図った。また、平成28年度に発足した宮崎よろず女子会においては、セミナーや会員同士の交流を促進するなど、女性企業家へのサポート強化を図った。

一方、平成25年11月からKITENビルに開設している「みやぎきフードビジネス相談ステーション」については、各種広告や相談者による口コミがあり、毎月100件程度の相談対応を行い、開設以来の相談件数は、延べ5,154件（平成30年3月末現在）となった。また、支援事例等を紹介したチラシ「みやぎきフードビジネス相談ステーションNEWS」を毎月1回発行し、県内外に配布を行うほか、新聞等の広告など、相談ステーションのPRを積極的に行った。

また、平成28年5月30日に同じくKITENビルに事務局を開設している、産学官労の13機関で構成された「宮崎県企業成長促進プラットフォーム」では、地域経済をけん引することが期待される成長期待企業の発掘・育成等を実施することとしており、平成29年度までに17社を成長期待企業に認定している。成長期待企業、地域中核的企業及び成長期待企業認定に向けた支援対象企業に対して、構成機関が連携して継続的・重点的な支援に取り組んでいる。

以上、平成29年度においても「中小企業の新たな一步を応援！！－地域の魅力を創出－」という中期運営計画の基本理念を更に推し進めるため、トータルサポート（総合的で一貫した支援）を意識し、事業実施を行ってきた。

平成29年度事業計画に記載した6つの区分に基づく事業について、事業の重要事項を含め、その概況を以下のとおり記載した。

## (1) 経営課題等に対する相談、助言に関する事業

### ①総合相談窓口開設事業（事業費：10,995,421円 県）

中小企業者の経営、技術、ITなどのあらゆるニーズに対応するためのコーディネーター及びアドバイザーを配置し、相談助言活動等を行った。

コーディネーター	谷山 浩一郎	IT企業代表取締役
	片岡 博信	元旭化成工業(株)
	高橋 忠彦	元旭化成工業(株)
	伊地知 澄相	元国土交通省職員、中小企業診断士
アドバイザー	長澤 啓作	元旭化成工業(株)

#### (企業相談実績)

相談内容	相談件数
ものづくり	364件
創業	18件
経営革新	42件
農商工連携・6次産業化	9件
フードビジネス	11件
IT活用	33件
知的資産経営	10件
その他	96件
合計	583件

業種	相談件数
製造業	335件
卸売業	61件
小売業	23件
建設業	50件
情報通信業	23件
サービス業	45件
農林水産業	3件
その他	43件
	583件

### ②経営相談・助言指導事業（事業費：2,983,234円 県）

建設事業者に対し、県内各地で定期的に出張相談窓口を開設したほか、企業訪問による相談も積極的に行うことで、経営基盤の強化を図った。

相談件数（延べ）	うち個別相談	うち訪問相談
83件	43件	40件

### ③専門家派遣事業（事業費：919,723円 県）

中小企業者が経営・技術などの課題に対応できるよう、各分野の専門家等を必要に応じてアドバイザーとして企業へ派遣した。

派遣回数	派遣先業種等	(参考) 専門家登録者数
33回	製造業、農林水産業	95人

### ④みやざき新ビジネス応援プラザ運営事業（事業費：3,066,892円 県）

創業意欲があり優れた事業計画を持つ個人起業家やベンチャー企業を支援・育成するため、インキュベーションルームを低価格で提供するとともに、インキュベーション・マネジャー（IM）による経営に関する指導・助言を行い、一貫した創業支援を行った。

インキュベーションルーム入居者数	(延べ)	7社
------------------	------	----

⑤よろず支援拠点事業（事業費：88,912,659円 国）

中小企業や小規模事業者の起業・成長・安定の各段階のニーズに応じたきめ細やかな対応を図るため、中小企業診断士、弁護士、公認会計士、広告戦略やIT関連分野の専門家、女性企業家等への支援を行うための女性経営専門家など、総勢15名のコーディネーター（平成29年度に女性コーディネーター2名増員）を配置し、多様な相談に対応できる体制を構築した。

また、各地域の相談者の利便性の向上を図るため、4地区（宮崎市中心部、都城市、延岡市、日南市）のサテライトに加え、平成29年度からは、小林市、えびの市で定期的に出張相談会を開催し、各地区の実情に詳しいコーディネーターが中心となって対応を行う運営体制をとったほか、日向市のひむか-Bizとの連携会議を定期的で開催し、連携強化を図った。

また、女性企業家の学びとマッチングを目的とした宮崎よろず女子会を定期的で開催し、女性企業家等への支援を強化した。

このほか、県内の支援機関との包括連携協定を締結し、事業者の経営課題の解決や地域経済材の活性化に向けた協力・連携を深めるとともに、商工会、商工会議所等の支援機関との連携により、創業、経営分析、海外展開、事業承継など多様なテーマでセミナーを開催した。

（コーディネーター 15名）

チーフコーディネーター	長友 太	中小企業診断士
	黒田 泰裕	中小企業診断士
	馬場 拓	中小企業診断士
	島中 星輝	デザイン企業代表
	小川 大輔	WEBマーケター
	倉吉 教文	元商工会議所専務
	長友 悦子	元商工会議所経営指導員
コーディネーター	村上 秀幸	公認会計士、税理士
	長友 慶徳	弁護士、弁理士
	中村 諭	中小企業診断士
	柳本 明子	IT企業代表
	川野 圭介	中小企業診断士
	草野 喜代治	税理士
	坂本 敬子	税理士
	坂田 ゆき	貿易コンサルタント

（経営課題別の相談実績）

大分類

課 題	相談件数
経営改善・事業再生	685件
売上拡大	5,124件
創業	598件
廃業	6件
事業承継	137件
再チャレンジ	26件
その他	32件
合 計	6,608件

中分類

課 題	相談件数
IT活用	238件
広報戦略・広告デザイン	1,166件
販路提案	1,140件
市場設定・市場調査	288件
商品開発	291件
地域資源活用	37件
資金繰り	377件
現場改善・生産性向上	342件
事業連携	145件
経営基礎	513件
事業計画策定	922件
施策活用	723件
法律・知的財産	87件
雇用・労務	86件
その他	253件
合 計	6,608件



○支援機関等と連携して実施したセミナー・研修等

i よろず支援拠点セミナー

中小企業・小規模事業者、商工会議所・商工会等の経営指導員、金融機関等を対象に、支援事例発表会を開催。

開催日	会場	参加者数	成果等
平成29年 7月21日	ニューウェル シティ宮崎	175名	支援事例を通して、よろずコーディネーターの関わりや支援のポイントについての理解を深めた。

ii 財務分析講座

経営者や支援機関を対象に、資金繰りに強くなるためのバランスシートとキャッシュフローについて学ぶとともに、事例演習を行った。

開催日	会場	参加者数	成果等
平成29年 7月15日	ニューウェル シティ宮崎	55名	BSやCFに見方のポイント等について事例演習を通して理解を深めた。

iii 創業スクール

商工会議所や商工会との共催によりし、創業時の心構えやビジネスプラン作成等についての講座（全4回～5回）を実施。

開催日	会場	参加者数	成果等
平成29年 9月14日 ～10月26日	佐土原町商工 会	36名 (全4回の延べ参加者)	事業者と支援機関との連携が深まるとともに、創業予定者のスキルアップが図られた。
平成29年 9月13日 ～10月18日	三股町商工会	48名 (全4回の延べ参加者)	
平成29年 9月19日 ～10月17日	佐土原町商工 会	20名 (全5回の延べ参加者)	
平成29年12月11日 ～平成30年 2月 7日	小林商工会議 所	53名 (全回の延べ参加者)	

iv 事業承継セミナー

宮崎県信用金庫協会や商工会（川南町、高千穂町）との共催により、事業承継を通して見えてくる経営課題全般に関わるセミナーを実施。

開催日	会場	参加者数	成果等
平成29年 8月23日 (宮崎県信用金庫協会と共催)	ニューウェル シティ宮崎	55名	事業承継に関する経営課題について講師と受講者が対話形式で意見交換を行うこと等で、理解を深めた。
平成29年10月11日～ 平成30年 1月26日	川南町商工会	26名	
平成29年12月 8日	高千穂町商工 会	10名	

v そのほか、事業計画策定や経営分析、インスタグラム活用のセミナー等を開催した。

## (2) 新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業

### ①ものづくり産業新事業展開支援事業（事業費：14,051,564円 県）

県内に製造設備を有する中小企業者及び組合等が、優れた技術やアイデア等を活かして取り組む新製品等の開発や販路開拓を支援した。

#### ア ものづくり産業新製品開発支援事業

	事業者	事業計画名
1	(株)クリエイティブテクノロジー	タンクステン材料の高速／高精度加工技術の開発（H26年度採択）
2	(株)MUSIサイエンス	無電源窒素ガス保存システムの開発（H27年度採択）
3	(株)ニチワ	ギア/カム/穴を有する形状の多段フォーマーによる鍛造工法開発（H27年度採択）
4	(株)ニチワ	アンダーカットを有する形状の多段フォーマーによる鍛造工法開発（H28年度採択）
5	三和ニューテック(株)	地域活性化に貢献する低価格ICカード端末の開発（H27年度採択）
6	和光コンクリート工業(株)	車両用防護柵の性能確認試験に供する「簡易な車両誘導装置」の開発（H28年度採択）
7	(有)花菱精板工業	立ち上がり補助椅子の開発（H29年度採択）
8	(株)日向屋	採卵鶏の手羽を使ったオリーブオイル漬け缶詰の試作、開発（H29年度採択）
9	(株)ミック	アルミ鋳造法による風力発電用プロペラの開発（H29年度採択）

#### イ ものづくり産業販路開拓支援事業

	事業者	事業計画名
1	アグリストリームきむら農園	Gulfood 2017 (UAE・ドバイ) (H28年度採択)
2	アカダ電器製作所(株)	第11回全国和牛能力共進会宮城大会への出展 (電子セラミクス、新規応札端末) (H28年度採択)
3	ミツイシ(株)	2017年秋冬展示会（日向夏くろずドレッシング） (H29年度採択)
4	(株)ニッケン	エンディング産業展2017（納骨壇、輪灯、LED 蠟燭）（H29年度採択）
5	(株)清水製作所宮崎	第21回機械要素技術展（フュージョン溶着技術製品）（H29年度採択）
6	(有)宮崎エヌフーズ	地方銀行フードセレクション2017 (H29年度採択)
7	(有)ギフトハウスマエダ	木と住まいの大博覧会・ WOODコレクション2018（H29年度採択）
8	安井(株)	Medical Fair Thailand 2017 (H29年度採択)
9	スパイスカフェヒトツブ	地域のちからコレクション (H29年度採択)

②みやざき農商工連携応援ファンド事業（事業費：58,044,669円 県）

ファンド（25.2億円）の運用益により、中小企業者と農林漁業者が連携し、農林水産資源や中小企業が有する技術などを活用して行う、商品開発、販路開拓や技術開発等の農商工連携の取組を支援した。

（平成29年度交付決定企業）

	申請企業名	連携事業者	事業計画名
1	NSファーム	(株)かぐらの里	ミニマンゴーを素材とした加工食品の開発
2	(株)丸佳	ベジエイト(株)	地元野菜類を素材とした加工食品の開発
3	(有)オッティモ	(株)くしまアオイファーム	宮崎産甘藷を素材としたスイーツの開発
4	OGAWA FARM	(有)のじり農産加工センター	樹上完熟トマトの新商品開発と販路開拓
5	(株)MOMIKI	金丸公英(生産農家) (株)ひよっとこ堂	県産黒ニンニクとカラーニンジンを使用したベジタブルグミの開発
6	(株)青木商事	(有)オー・エヌフーズ	宮崎県産柑橘系残渣を飼料として飼育した地鶏の加工食品開発
7	(有)サンライズ	祝子農園	宮崎県産香辛料を練り込んだ麺類の開発
8	日南商工会議所	谷口果樹園	日南産完熟金柑餡を100%使用した和スイーツの商品開発事業～日南山幸プロジェクト～
9	(有)鈴木組	マーケットプラス(株)	宮崎県産チョウザメの魚肉を有効活用する為の新商品開発及び販路開拓事業
10	(株)川北製麺	(株)くしまアオイファーム	宮崎県産さつまいもを原料とした乾麺の開発及び販路拡大
11	(株)ジェイエイファーズみやざき	ラピスセミコンダクタ宮崎(株)	GAP（農業生産工程管理）に基づく土壌環境モニタリング・ソリューションの開発
12	(有)アポロ	宮崎県森林組合連合会 (有)淵上鉄工所	林地残材加工炭化炉の開発
（支援機関事業）			
1	公益財団法人宮崎県産業振興機構		農商工連携フォローアップ支援事業
2	公益財団法人宮崎県産業振興機構		アンテナショップ活用によるテスト販売及び定番化による販路拡大支援事業

③産学官共同研究開発支援事業（事業費：18,164,706円 県）

宮崎県工業技術センター等の公設試験研究機関や県内の大学等が所有する研究成果と、県内企業の事業化意欲とを効率的かつ効果的に結びつけた産学官連携の技術開発により、新産業の創出を図った。

	テーマ	管理法人	共同研究者
1	GABA高生産乳酸菌を用いたGABA強化糖床及び、GABA強化漬物作製のための漬物容器の開発 【R&D】H27年度採択	キムラ漬物宮崎工業(株)	黒木建設(株) (大)宮崎大学
2	低価格帯牛肉の高付加価値化のためのドライエイジング牛肉製造及びドライエイジングセラーの開発 【R&D】H27年度採択	(株)フジキン	(株)野上食品 (大)宮崎大学

3	口腔外科手術に用いる口腔保持デバイス事業化可能性の調査 【F/S】H28年度採択	昭和(株)	フジタ医科機器(株) (大)宮崎大学
4	軽量化放射線遮蔽製品の開発 【R&D】H28年度採択	吉玉精鍍(株)	(株)丸松、 (大)宮崎大学
5	安心・安全な宮崎県産ブルーベリー葉と有機緑茶葉による高付加価値ブレンド粉末茶の開発 【R&D】H28年度採択	SUNAO製薬(株)	(大)宮崎大学 宮崎県食品開発センター
6	IOT技術を活用した次世代型見守りシステムの開発 【R&D】H28年度採択	(株)インタープロ	宮崎県工業技術センター
7	バスロケーションシステムと連動した地域情報提供システムの開発 【ICT連携型】H28年度採択	アイコムティ(株)	(株)文宣 宮崎交通(株)
8	飼料タンク用洗浄・遮熱塗装ロボットの開発可能性研究 【F/S】H29年度採択	(大)宮崎大学	(株)宮防
9	養殖生産に対応した特定波長光照射装置の開発と生産効率化の実現に向けた可能性試験 【F/S】H29年度採択	(大)宮崎大学	(株)イーテック
10	手術や住宅で使用できるポータブル吸引器の事業化可能性の調査 【F/S】H29年度採択	アルバック機工(株)	安井(株) (大)琉球大学 附属病院
11	高齢者等に対する自動車運転評価システムを活用したサービスの提供に向けた研究開発 【R&D】H29年度採択	(株)オフアサポート	(大)宮崎大学
12	シラスを原料とするスパッタリングターゲットの製造技術および防曇アプリケーションの開発 【R&D】H29年度採択	高千穂シラス(株)	(株)高千穂 (独)都城高専

④実用化プロジェクト創出促進事業（事業費：1,902,171円 県）

公募型研究開発プロジェクトへの提案内容の企画・設計を行う専門家を配置することにより、優れた研究成果の事業化を支援した。

⑤環境イノベーション支援事業（事業費：21,366,031円 県）

- i 産業廃棄物の排出抑制やリサイクルを促進するため、産学官が連携した共同研究グループや県内企業が行う環境リサイクル関連の新事業創出に対して支援を行った。

	テーマ	管理法人	共同研究者
1	廃シリカゲルを再利用したセラミック系薄層断熱緑化基盤材の実用化開発 【R&D】H27年度採択	富士シリシア化学(株)	(大)宮崎大学
2	廃シリカゲルと刈り芝等を用いた芝のラージパッチ病抑制用微生物資材開発の可能性調査 【F/S】H28年度採択	(株)松山物産	(大)南九州大学 (独)都城工業高等専門学校

3	クロム回収サイクルによる廃棄物削減への実用製品化可能性の基礎実験型調査 【基礎実験F/S】H28年度採択	吉玉精鍍(株)	福岡県工業技術センター
4	廃プラおよび半炭化剪定草木等を用いた高発熱量固形燃料の基礎実験型可能性調査 【基礎実験F/S】H28年度採択	(株)日向中島鉄工所	宮崎県木材利用技術センター (株)黒田工業
5	土木廃液中の汚泥排出削減のための高精度固液分離剤の最適設計と高性能リサイクル建設材料の開発に関する基礎的研究 【基礎実験F/S】H28年度採択	(有)日向栄進産業	(大)宮崎大学 (株)しげんらぼ
6	豚糞・廃菌床を有効活用して堆肥化、飼料化する循環システムの構築と基礎実験型可能性調査 【基礎実験F/S】H28年度採択	(株)マエノ	(大)宮崎大学
7	ビール発酵残渣等の利活用技術開発 【R&D】H28年度採択	宮崎ひでじビール(株)	宮崎県食品開発センター
8	採卵後のチョウザメの頭・骨・皮等を原料にした調理原料およびアスリート用レシピの開発 【R&D】H28年度採択	(株)宮崎活魚センター	(大)宮崎大学
9	再発酵・蒸留・固液分離を統合したバイオ燃料製造による焼酎蒸留廃液処理プロセスの開発 【R&D】H28年度採択	(株)あなぶき加賀城建設	(大)宮崎大学
10	クロム回収サイクルによる廃棄物削減装置の実用化に向けた開発 【R&D】H29年度採択	吉玉精鍍(株)	福岡県工業技術センター
11	豚糞及びシイタケ廃菌床の利活用に関する技術開発 【R&D】H29年度採択	(株)マエノ	(大)宮崎大学 宮崎県工業技術センター

ii 環境リサイクル関連事業で支援した研究開発成果の事業化や製品の販売促進を図るため、展示会に出展した。

展示会名	開催期間	出展企業	成果
第3回国際バイオマス発電展	平成30年2月28日 ～3月2日	南国興産(株) (株)あなぶき加賀城建設	折衝中 4件

iii 環境リサイクル関連事業で支援した研究開発成果の事業化や製品の販売促進を図るため、企業の展示会等への出展を支援を行った。

	テーマ	事業者名
1	国際溶媒抽出会議 ～ISEC2017への出展	吉玉精鍍(株)
2	「第19回ジャパンインターナショナルシーフードショー」他への出展	(株)水永水産

iv 環境リサイクル関連の研究開発テーマの掘り起こしを図るため、県内企業の潜在的開発ニーズや大学・公設試・企業の研究・技術シーズの調査等を行い、共同研究グループ形成等を目的としたマッチング会を開催した。

【研究開発等ニーズ調査】

- ・調査企業数：県内企業497社（回答数70社 回答率14%）
- ・成果：研究開発候補テーマ4件を掘り起こした。

【マッチング会の実施】

- ・先進的な環境関連事業に取り組む国内企業2社による講演会を実施(参加者60名)し、併せて企業(4社)と公設試等との個別相談会を行った。

⑥中小企業特許出願等助成事業(事業費:2,385,184円 機構、国)

ア 知的財産を活用した中小企業の振興を図るため、中小企業の特許出願、意匠出願に要する経費の助成を行った。

助成件数	助成金額
10件	1,166,000円

イ 中小企業等が外国での事業展開等に活用する産業財産権(特許、実用新案、意匠商標、冒認対策の出願)に要する経費の助成を行った。

助成件数	助成金額
8件	1,214,000円

⑦フードビジネスブラッシュアップ支援体制構築事業(事業費:5,845,000円 県)

フードビジネス相談ステーションに寄せられるアイデアの卵を、商品デザイン案の作成など商品開発へのチャレンジに係る支援体制を構築し、地場産業の企画力・商品力アップを図ることで本県フードビジネスのボトムアップを推進した。

助成件数	助成金額
20件	5,845,000円

⑧「知」の集積による産学連携推進事業のうち研究開発プラットフォーム運営等委託事業(事業費:1,676,321円 国)

食の機能性が見える化などを通じた事業創出に取り組む「健康長寿社会の実現に向けたセルフ・フードプランニングプラットフォーム」(国の採択事業)に参画し、島津製作所等の大企業や宮崎大学、県と連携して本県資源等を活かした研究等を支援した。

(3) 経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業

①取引振興事業(事業費:15,751,726円 県)

下請取引等に関する企業情報、技術動向等を広く収集・提供し、中小企業の取引の促進と適正化を推進するとともに、受注基盤の強化を図り、中小企業の受注の確保と取引先の多角化を支援した。

(登録企業の状況)

区分	29年度登録実績	累計登録企業数
発注企業	0企業	267企業
受注企業	13企業	537企業
計	13企業	804企業

(事業実績)

ア 受発注情報等収集提供事業

区分	件数	指導・相談件数	区分	件数
取引あっせん・紹介件数	715件	指導・相談件数	取引あっせん相談	259件
成立件数	175件		経営関係	0件
不成立件数	423件		その他(県内企業情報等)	0件
折衝中	0件		発注開拓企業件数	100社

イ 商談会等開催事業  
地域見本市支援

見本市名	第21回機械要素技術展
開催期間	平成29年6月21日～23日
出展企業	MIX（共同受注グループから4社）、宮崎県企業立地推進局、宮崎県産業振興機構

商談会等開催

名称・開催日	会場	参加企業数	成果等
ものづくり取引拡大商談会（大阪） 平成29年7月19日	ホテルグランヴィア大阪（大阪市）	発注企業 12社 受注企業 20社	成立件数 2件 " 金額 810,000円
ものづくり取引拡大商談会（宮崎） 平成29年11月9日～10日	MRTミック（宮崎市）	発注企業 22社 受注企業 47社	成立件数 44件 " 金額 15,196,000円
中小企業交流会 平成29年11月9日	MRTミック（宮崎市）	県内中小企業 30社	中小企業において課題となっている人材獲得と育成に関する講演を実施

②北部九州・中国地域での販路開拓支援事業（事業費：2,804,862円 県）

北部九州の自動車メーカーは、サプライチェーンも含めて、国内でも有数の大きな集積をなしており、更なる地場調達率の向上の動きもある。また、東九州自動車道が開通した好機でもあることから、この時期を捉えて、商談会の開催などによる県内受注拡大等、本県自動車関連産業の振興を図った。

商談会等開催

名称・開催日	会場	参加企業数	成果等
ものづくり取引拡大商談会（福岡） 平成30年2月15日	ホテルセントラザ博多（福岡市）	発注企業 12社 受注企業 27社	71商談を実施 成立件数、金額は調査中

③みやざき小規模企業者等設備導入資金貸付事業（事業費：53,289,501円 県）

小規模企業者の経営基盤強化に必要な設備の導入の促進を行い、企業の経営基盤の強化を支援した。

貸付実績

業種別	平成29年度 資金貸付実績		(参考)	平成28年度 資金貸付実績	
	件数	金額（千円）		件数	金額（千円）
農林水産業	1	5,800	0	0	
鉱業	0	0	0	0	
建設業	2	5,000	4	10,200	
製造業	9	27,620	11	73,190	
運輸業	0	0	0	0	
卸売業	1	4,900	0	0	
小売業	1	5,000	0	0	
サービス業	0	0	1	1,990	
その他	0	0	0	0	
合計	14	48,320	16	85,380	

#### (4) 産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業

##### ①情報化支援活動事業（事業費：5,806,560円 県、機構）

機構特選トピックスやイベントカレンダーなど活用頻度が高いコンテンツを安定的に運用しつつ、相談業務を伴う支援策や機構の重要施策は中小企業等がより見つけやすいようサイドメニューに配置するなど、より分かりやすい情報提供を行った。また、中小企業・ベンチャー支援策等のPRを行うためパンフレットの作成や、中小企業等に有益な支援策を提供するメールマガジンを発行した。

パンフレットの発行	発行部数 8,000部		
メールマガジンの配信	配信回数 27回	登録読者数	2,009者(H30.3.31)

#### (5) 産業振興に資する人材の育成に関する事業

##### ①人材育成事業（事業費：3,868,202円 機構）

中小企業の経営力・技術力の向上や企業の将来的成長につながる経営者・技術者等の人材育成等を図るため、企業が経営力を高めるため研修等を実施する際の経費の助成、ものづくり企業の若手経営者等の交流・研鑽を目的とした交流会等を実施する。

##### ア 研修及び指導事業

中小企業の経営力や技術力の向上を図るため、経営者や従業員が研修等に参加する場合の経費の一部を助成した。

(助成実績)

研修等の内容	延べ企業数	延べ参加者数
経営管理関係	2件	4人
営業強化	6件	11人
技術力向上	7件	15人
リーダー育成	5件	34人
社内研修	0件	0人
合計	20件	64人

##### イ ものづくり企業連携推進事業

##### i 熊本県ものづくり企業視察

ものづくり企業の若手経営者・中核的人材等を対象に、技術的・経営的課題の気づきの場を提供するとともに、県内企業間の親交を図るため、県外の先進的な中小企業の視察を行った。

開催日	視察地	視察先	内容
平成29年12月5日(火) ～6日(水)	熊本県	9企業9名 ※平均年齢 37歳	・不二ライトメタル(株)、(株)エイムテック、(株)オジックテクノロジーズ3社の視察 ・交流会開催



ii 宮崎・台湾企業交流プログラム

県内の工業系中小企業の次世代経営者・中核的人材を対象に、海外、特に中国との取引が盛んな台湾の企業との交流を通じて、県内企業の海外展開を支援した。

開催日	視察地	参加者	内容
平成29年11月15日(水) ～18日(土)	台湾 (台中市、 高雄市)	4企業6名	・台湾企業の経営者等との交流 ・台湾企業や工場等の視察 ・台湾開催の国際展示会の視察

ウ 若手技術者等育成支援事業

県内中小企業の若手技術者・研究者の育成を支援することで、中小企業の技術力や研究開発力の向上を図るため、若手技術者・研究者が取り組む「ものづくり基盤技術」を活用した技術開発に対して支援を行った。

	テーマ	企業名	備考
1	ポータブル水素燃料電池用樹脂部品の溶着技術開発	(株)修電舎	若手2名(21歳、32歳)が樹脂部品の溶着技術開発に取り組む。
2	災害時や患者搬送時などの吸引源がないシーンで使用できる吸引装置の開発	アルバック機工(株)	若手3名(30～35歳)のチームでバッテリー駆動型吸引装置の製品開発に取り組む。

(6) 産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

①中山間地域産業振興センター運営事業 (事業費：7,764,030円 県)

中山間地域における事業者等からの相談に対応する「中山間地域産業振興コーディネーター」を配置し、地域資源等を生かした商品の開発や販路拡大の支援のほか、中山間地域の産業振興に資する「中山間セミナー」を実施した。

中山間セミナー

開催日	会場	参加者数	内容
平成29年10月29日(日)	八幡原市民総合センター (小林市)	57名	東京や福岡、名古屋などの名店シェフが調達に訪れる野菜を作る地元の農業者を招き宮崎の農業ビジネスが元気になるためのヒントを得る。
平成29年11月25日(土)	グリーンパークえびの (えびの市)	98名	人口減少が深刻な局面を迎えるなか、今後えびの市が持続的な発展をする為にどうすれば良いかを学ぶため、観光・移住のエキスパートを招き、市長とともに考える。
平成30年 2月3日(土) ～4日(日)	・旧鳥田町小学校及び須木総合ふるさとセンター (須木村)	68名	まちづくりの考え方について、専門の大学教授をお招きし、各地で地域活性化に取り組む団体とともに考え、情報の共有化と交流を図る。

②東九州メディカルバレー医工連携ステップアップ事業（事業費：4,099,376円 県）

東九州メディカルバレー構想を推進するため、「宮崎県医療機器産業研究会」(\*)に加盟する地場企業の医療機器産業への参入を支援する「参入支援コーディネーター」を設置し、加盟企業への情報提供や助言を行うとともに、医療関係機関と加盟企業との橋渡し役としての活動のほか、展示会への出展等の支援を行った。

また、医療関連産業機器の販路開拓や情報収集・提供等による企業支援を行う「販路開拓コーディネーター」を設置し、宮崎県医療機器産業研究会に加盟する企業が開発した製品や技術の販路開拓のために、首都圏の製販業者や病院、大学等を訪問しマッチングなどの活動を行ったほか、加盟企業に対して、医療関係の業界・現場で収集したシーズやニーズの情報を関連する企業へ提供した。

更に、県内企業の販路開拓・機器開発に係る商談用試作品作成を支援した。

※ 宮崎県医療機器産業研究会

・設立趣旨： 東九州メディカルバレー構想に基づき、医療機器産業の振興を図るため、本県内の産学官が連携し、企業の医療機器産業への新規参入、取引拡大を推進することを目的に設立

・設立： 平成23年10月19日

・会員数： 102企業・団体（企業：84社、支援機関：18団体）

企業名	試作品概の概要	補助額
アルバック機工(株)	災害時用吸引装置のPR用人体モデルと吸引シミュレーションチューブセット	64,700円
三和ニューテック(株)	補助事業のF/S, R&Dを経て完成した歩行測定器のデモ機製作	100,000円
(有)花菱精板工業	宮崎大学医学部ニーズ発表会での尿器収納ケースの試作	45,000円
吉玉精鍍(株)	無電解銅メッキを用いた電磁波シールドのエプロン製作	92,492円
(株)昭和	口腔外科向け口腔を開いた状態で保持できる開創器の試作	100,000円
	合計	402,192円

③みやざき成長産業育成体制構築事業（事業費：59,460,327円 県）

みやざきフードビジネス振興構想を推進するため、フードビジネスに係る総合相談窓口を設置し運営等を行うなど、みやざき成長産業育成・雇用創出プロジェクト(\*)の一部を実施し、フードビジネス振興構想の推進を図った。

※みやざき成長産業育成・雇用創出プロジェクト

県内の成長産業4分野（フードビジネス、医療機器、輸送機器、木材・バイオマス）の企業を県内の産学金官が連携して支援するプラットフォームを形成するとともに、市場調査・分析に基づく商品開発や販路開拓、人材育成などに取り組む企業を戦略的に支援・育成し、支援先企業の事業の拡大等を通じた雇用の創出と成長産業の育成の加速化を図る宮崎県が推進するプロジェクト。

ア 担当コーディネーター等

多岐にわたる相談内容に対応し、各支援機関等が連携して効果的な支援を行うため、当機構総合相談窓口のコーディネーターのほか、次の専門家を配置し同ステーションの運営を運営を行った。

マーケティングアドバイザー	伊東 正寿	マーケティング、販売戦略
	吉松 孝一	海外展開支援
コーディネーター	高峰 由美	販売戦略
	佐々木隆行	経営指導、6次産業化
	久積 正道	マーケティング
	生駒 祐一	マーケティング、IT
アドバイザー	金丸 友徳	味の専門家
	川越 おもと	品質管理・製造管理
	佐藤 大吾	食品表示
	佐藤 智恵	カラー

イ 相談実績

相談区分	実績数
新商品開発	157
6次産業化・農商工連携	177
創業	7
販路開拓	131
マーケティング	5
デザイン	262
衛生管理	11
その他	486
計	1,236

ウ 相談対応以外の活動内容

- ・ホームページによる情報提供  
 フードビジネスに関する企業等にステーションの活動を分かりやすく紹介するために、機構のホームページ内に「みやざきフードビジネス相談ステーション」のホームページを開設し、随時更新しながら情報提供を行った。
- ・連絡会議等の開催  
 フードビジネス相談ステーションの相談案件等について、関係機関の情報共有及び事業の円滑な推進を図ることを目的に、月1回連絡会議を開催した。  
 また、関係機関が相談に適切に対応できるよう、相互の業務内容についての情報共有会議を定期的に開催した。
- ・ステーションニュースの発行  
 フードビジネス相談ステーションのPRを積極的に図っていくため支援事例等を中心に毎月1回発行し、関係機関へ幅広く周知を図った。

④中核的企業パワーアップ支援事業（事業費：7,312,640円 県）

地域における経済循環の活性化の中核を担う企業への育成・強化を図るため、今後の成長が期待される分野における産学官共同研究開発への重点的な支援やマーケットの望む技術等を新たに導入した企業への支援を行った。

ア 中核的企業ジャンプアップ新技術導入チャレンジ支援事業

マーケットの望む技術等を新たに導入する企業が、生産ラインに乗るまでの一定期間の間、その設備投資に対して支援した。

- 支援件数：1件
- 支援先：宮崎ひでじビール(株)

イ 「地域循環型ものづくり力アップ」チャレンジ支援事業

地域中核的企業として認定を受けた企業が単独、或いは県内中小企業と連携・共同して行う新製品開発に対して支援した。

	テーマ	企業名
1	スクリーンプロペラ部品の試作開発	ミツワハガネ(株)
2	オール宮崎産ビール・発泡酒の開発・販路拡大 (平成28年度より継続)	宮崎ひでじビール(株)

⑤プラットフォームによる地域産業・企業成長促進事業（事業費：64,083,236円 県）

産学金労官の13機関で構成される企業成長促進プラットフォームの事務局を運営し、成長期待企業の掘り起こし・選定を行うとともに、同プラットフォーム構成機関が連携した企業訪問等による指導・助言や企業の成長を促進する支援策等により、中核企業育成に向けた重点的な支援を行った。

ア 成長期待企業の認定

認定に向けた支援対象企業数 ※成長期待企業の候補企業として選定された企業数 (下記成長期待企業を含む)	59社(32社)
成長期待企業数(認定企業数)	17社(6社)

※( )内は29年度に追加された企業数

【成長期待企業一覧】

	企業名	業種	所在市町村
1	(株)井崎製作所	金属製品製造業	新富町
2	(有)一平	飲食業/小売業	宮崎市
3	(株)オフアサポート	老人福祉・介護事業/学習支援事業	宮崎市
4	(株)くしまアオイファーム	農業	串間市
5	(株)コア・クリエイトシステム	情報サービス業	宮崎市
6	(株)システム技研	生産用機械器具製造業	都城市
7	スパークジャパン(株)	情報サービス業	宮崎市
8	(株)宮防	職別工事業	宮崎市
9	大和フロンティア(株)	木材・木製品製造業	都城市
10	吉田産業(株)	木材・木製品製造業	日南市
11	(株)ワン・ステップ	物品賃貸業	宮崎市
12	(株)池上鉄工所	生産用機械器具製造業	延岡市
13	(株)サニー・シーリング	印刷・同関連業	都城市
14	(株)修電舎	電気機械器具製造業	延岡市
15	(株)高嶺木材	木材・木製品製造業	日南市
16	日本情報クリエイト(株)	情報サービス業	都城市
17	マイクロエース(株)	金属製品製造業	宮崎市

イ 企業訪問数

70社に対して延べ247回訪問

ウ 成長期待企業への外部専門家の派遣

3件

	企業名	専門家分野	専門家
1	(株) システム技研	技術者等の人事労務制度	森川経営労務事務所 森川 昭夫
2	吉田産業(株)	人事制度及び機能的な組織運営	阿南経営診断事務所 阿南 友也
			マツダ事務所 松田 正幸
3	(株) ワン・ステップ	I C T活用による業務効率化	(有)インテリジエント・パーク 荒添 美穂

エ 成長期待企業に対する経営診断の実施

2件

	企業名	診断者
1	スパークジャパン(株)	三浦会計事務所 公認会計士 三浦 洋司
2	(株) ワン・ステップ	

オ 企業成長ステージアップ支援事業補助金

8件(総額17,810千円)

	企業名	内容	補助額
1	(株) 井崎製作所	研究開発(生産性向上)	5,000千円
2	(有) 一平	知財確保	1,924千円
3	(株) オファサポート	研究開発	376千円
4	(株) くしまアオイファーム	販路開拓	1,860千円
5	(株) コア・クリエイトシステム	研究開発(生産性向上)	3,581千円
6	(株) システム技研	研究開発/販路開拓/知財確保	2,650千円
7	(株) 宮防	研究開発	2,015千円
8	大和フロンティア(株)	研究開発	404千円

カ 成長期待企業パワーアップ支援事業補助金

4件(総額1,835,019円)

	企業名	内容	補助額
1	(株) 井崎製作所	炭酸ガスレーザー加工機導入	191,293円
2	(株) くしまアオイファーム	サツマイモ集出荷場等整備	1,222,575円
3	(株) ワン・ステップ	遊具倉庫整備(浜松営業所)	351,443円
4		遊具倉庫整備(宮崎本社)	69,708円

## キ 経営者・経営幹部向けセミナー

(ア) ひなたマネジメントスクール (於：県立図書館)

	開催日	参加者	内 容
1	平成29年10月14日(土)	40名	○企業の成長と経営(経営者が考えるべきこと) ○経営者(経営幹部)の職務と役割
2	平成29年10月15日(日)	32名	○リーダーシップとコミュニケーション
3	平成29年11月3日(金)	42名	○経営戦略と経営計画①
4	平成29年11月4日(土)	36名	○経営戦略と経営計画② ○情報化戦略
5	平成29年12月23日(土)	38名	○企業会計の基礎
6	平成29年12月24日(日)	31名	○自社の財務分析と財務視点の経営改善 ○資金調達・金融機関とのつきあい方 ○県が実施する各種支援施策・支援制度の活用 ○新規事業構築
7	平成30年1月13日(土)	34名	○マーケティングの基本と実践①
8	平成30年1月14日(日)	38名	○マーケティングの基本と実践② ○中小企業を取り巻く課題と経済産業省の支援策 ○霧島HD(株)代表取締役専務による特別講演
9	平成30年2月10日(土)	30名	○組織活性化と人事考査の考え方・進め方
10	平成30年2月11日(日)	34名	○知っておくべき法律の知識と企業成長のための会社法の活用 ○地域との連携(域内経済循環を図る)

(イ) 株式上場チャレンジセミナー (於：県立図書館)

	開催日	参加者	内 容
1	平成29年10月18日(水)	43名	○「IPO挑戦 上場までの道のり」 (株)東武住販 代表取締役社長 荻野利浩 ○「株式上場準備の概要」 新日本有限責任監査法人 堺昌義

## ク 成長期待企業の展示会出展

展示会名	第8回関西医療機器開発・製造展(MEDIX関西)
開催期間	平成30年2月21日(水)～同年2月23日(金)
出展企業	(株)サニー・シーリング、(株)システム技研、(株)修電舎
成果等	成立案件：0件、折衝中案件：12件

## ケ 人材確保マッチングイベント

	開催日	参加企業	参加者	内 容
1	平成30年 3月10日(土) 14:00～16:30	(株)池上鉄工所 (株)オファサポート (株)システム技研 スパークジャパン(株) ミツワハガネ(株) 宮崎ひでじビール(株)	23名	求職者に認定企業の魅力を知ってもらい、その後の企業訪問や企業説明会等に繋げるための座談会形式の交流会
2	平成30年 3月13日(火) 14:00～16:00	(株)オファサポート (株)コア・クリエイトシステム 吉田産業(株)	22名	
3	平成30年 3月14日(水) 14:00～16:00	(株)システム技研 スパークジャパン(株) (株)高嶺木材	19名	
4	平成30年 3月15日(木) 14:00～16:00	日本情報クリエイト(株) マイクロエース(株) ミツワハガネ(株) (株)ワン・ステップ	21名	

### ⑥東九州メディカルバレー構想推進事業機器開発アドバイザー等配置事業

(事業費：1,511,044円 県)

平成22年より推進してきた東九州メディカルバレー構想に基づき、地場企業の医療機器産業への参入支援や県内企業の持つ技術や開発製品の販路開拓への支援をさらに推進するため、薬事戦略アドバイザー1名と産学官連携コーディネーター1名を配置し、開発品の製品化を支援した。

### ⑦フードビジネス展示会出展支援事業(事業費：1,475,392円 県)

宮崎県(食品・メディカル産業推進室)、宮崎県農業振興公社との共催で、商談マッチングを盛り込んだ「みやざき販路開拓・求評会」を実施した。

日時：平成30年2月8日(木)・9日(金)

内容：①売れる商品委関する求評アドバイス

②それぞれの専門家により商品ブラッシュアップ

③求評会参加バイヤーによる商談フォロー

参加者：バイヤー 6名

県内事業者 8社

### ⑧地域産業育成推進体制整備事業(事業費：16,599,418円 県)

本県ものづくり産業の活性化のために、産学金官及び外部資源等を活用した新たな価値を生み出すイノベーションの創出を目的として、イノベーション共創プラットフォーム事務局を設置し、企業の成長促進を支援した。